**09.器官系別試験対策５**

**消化器系Ⅱ**

はじめに

もはや恒例化した（？）過去問を担当先生毎に再編集する作業を、春休み中に行いました。新しい過去問の保管場所「スカイ・ドライブ」も整理が完了しましたので、年度毎の問題が必要な場合はそちらをダウンロードして頂くことになります。

本書では08,07年度に出題された全問題と、06〜01年度に出題された問題の中から08、07年度にも担当している先生の出題問題を掲載しました。

本書の特徴

担当の先生毎に現存する過去問を整理し直しています。

また、複製問題であるため、完全に複製されている問題から問題として成立していないものまで様々でしたので、「完全複製問題」と「部分複製問題」に分類し、部分複製問題の内問題として成立していないものは僭越ながら著者が推測し（メモが存在するものはそれを参考に）復元しています。

**（片田先生範囲）**

**完全複製問題：08年度→1〜4、07年度→5**

1. **早期食道癌について正しいものを選びなさい。（複数可）**
2. **直径2 cm以上のものは早期食道癌に含めない。**
3. **胸部上部食道に多い。**
4. **肥満は食道癌の危険因子である。**
5. **初期症状として嚥下障害を呈する。**
6. **リンパ行性より血行性転移の方が多い。**

**解答**

1.
2.
3.
4.
5. **早期食道癌について正しいものを選びなさい。（複数可）**
6. **腹腔内のリンパ節郭清は行わない。**
7. **胸部上部に多い。**
8. **肥満が危険因子となる。**
9. **再建臓器として胃が多く用いられる。**
10. **リンパ行性より血行性転移の方が多い。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **食道癌の手術後合併症として不適切なものを選びなさい。**
2. **食道管縫合不全　—　経管栄養**
3. **MRSA腸炎　—　再開腹**
4. **両側反回神経麻痺　—　呼吸困難**
5. **乳び胸　—　低タンパク血症**
6. **無気肺　—　肺炎**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **早期胃癌について正しいものを選びなさい。**
2. **低分化癌の治療は手術である。**
3. **リンパ節転移を生じた胃癌の５年生存率は20％である。**
4. **粘膜癌にリンパ節転移は無い。**
5. **胃摘除した症例の90％はⅠ型（胃がん取扱規約）である。**
6. **問題不明**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **食道癌の治療で再建臓器として胃を用いる時の術式を３つ挙げ、その利点と欠点を説明しなさい。**

**（田辺先生範囲）**

**完全複製問題：08年度→1、07年度→2、06年度→3、05年度→4**

**03年度→5、02年度→6**

1. **以下の文章で正しいものは○、間違っているものには×を付けよ。**
2. **A型胃炎は胃体部の萎縮が著明である。**
3. **萎縮性胃炎は血管を透見出来る。**
4. **インジコカルミンは凹凸を強調する。**
5. **食道がんはルゴール法によって病変部が染色される。**
6. **急性胃粘膜病変は深ぼりの多発性の潰瘍を認める。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **以下の文章で正しいものは○、間違っているものには×を付けよ。**
2. **食道炎はヨード染色で染色されない。**
3. **B型胃炎はH.Pyloriが関連している。**
4. **AGML（急性胃粘膜病変）は深堀で単発である。**
5. **高齢者の胃潰瘍は胃体上部で見られる。**
6. **消化性潰瘍の合併症は出血、穿孔、癌化である。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **以下の文章で正しいものは○、間違っているものには×を付けよ。**
2. **A型胃炎は鉄欠乏性貧血である。**
3. **B型胃炎は胃体部の萎縮である。**
4. **メチレンブルーはコントラスト判定に用いる。**
5. **急性胃粘膜病変は予後不良である。**
6. **メネトリエ病は浮腫を伴う。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **以下の文章で正しいものは○、間違っているものには×を付けよ。**
2. **食道炎はヨード染色で染色されない。**
3. **インジコカルミンは凹凸を強調する。**
4. **急性胃粘膜病変は単病巣である。**
5. **A型慢性胃炎は無酸を呈する。**
6. **メニトリエ病は高酸を呈する。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **以下の文章で正しいものは○、間違っているものには×を付けよ。**
2. **食道癌に内視鏡下でヨード染色を行うと、病変が染色される。**
3. **インジゴカルミン色素散布法は凹凸を強調するコントラスト法である。**
4. **急性胃粘膜病変では、深い潰瘍を形成することが多い。**
5. **急性胃粘膜病変は緊急手術になる場合が多い。**
6. **ヘリコバクターピロリ菌は慢性胃炎の原因の一つである。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **以下の問に答えなさい。**
2. **AGMLの概念、成因、診断、治療について知るところを述べなさい。**
3. **ストリックランドの分類について説明しなさい。**

**（菊池先生範囲）**

**完全複製問題：08年度→1、07,05年度→2、06年度→3**

1. **胃全摘〈脾摘せず〉の時、切る血管で間違っているものを選びなさい。**
2. **右胃大網動脈**
3. **左胃動脈**
4. **左胃静脈**
5. **胃十二指腸動脈**
6. **短胃動脈**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **胃癌の治療について以下の項目について述べよ。（腫瘍の大きさ、部位、深達度などを挙げ具体的に説明すること）**
2. **早期胃癌の外科手術の適応とその術式**
3. **脾摘の適応**
4. **胃癌においてD2郭清が主流であるが、その理論的根拠と問題点について述べよ。**

**（中沢先生範囲）**

**完全複製問題：08年度→1 , 2 , 3、07年度→4 , 5 , 6 , 7、06年度→7**

**１．特発性ヘモクロマトーシスに当てはまるものを選びなさい。**

**１）光過敏性皮膚炎**

**２）精神症状**

**３）DM**

**４）血清フェリチン低下**

**５）Kayser-Fleischer角膜輪**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

**２．以下の選択肢の中で正しいものを選びなさい。**

**１）肪肝の診断には肝血管造影が有効である。**

**２）HBVの成人感染の原因として輸血が多い。**

**３）肝血管塞栓術はラジオ波より癌再発率が低い。**

**４）肝細胞は乏血性腫瘍が多い。**

**５）肝腫瘤において超音波検査はスクリーニング検査になりうる。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

**３．HCCについて正しいものを選びなさい。**

**１）腫瘍マーカーはCEAである。**

 **２）北米、ヨーロッパに多い。**

 **３）ほとんどがHCV抗体陽性である。**

 **４）根治術がうまくいけば再発はしない。**

 **５）遺伝的素因がある。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **以下の文章で正しいものを選びなさい。**
2. **RFAの適応は3 cm以内の単発性の肝細胞癌に適応がある。**
3. **門脈浸潤のある肝細胞癌にTAEは禁忌である。**
4. **肝細胞癌は治療が完了すれば再発しない。**
5. **問題不明**
6. **問題不明**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **突発性ヘモクロマトーシスについて正しいものを選びなさい。**
2. **血清フェリチンの低下**
3. **皮膚の色素沈着**
4. **問題不明**
5. **問題不明**
6. **問題不明**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **肝細胞癌の原因としてもっとも多いものはどれか。**
2. **日本住血吸虫**
3. HBV
4. **HCV抗体陽性**
5. **アルコール**
6. **問題不明**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **肝代謝異常で正しいものを選びなさい。**
2. **Wilson病は鉄代謝異常である。**
3. **ヘモクロマトーシスにはKayser-Fleischer角膜輪がみられる。**
4. **急性間欠性ポルフィリアは男性に多い。**
5. **脂肪肝では肝腎コントラストの低下がみられる。**
6. **非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）は肝硬変に移行しうる。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **肝細胞癌の内科的治療について書きなさい。**

**（木田先生範囲）**

**完全複製問題：08,02年度→1、07,06年度→2、04,02年度→3、**

**02年度（再）→4、01年度→5**

1. **膵癌（広義）を組織学的に分類し説明せよ。**
2. **胆嚢癌、胆管癌の症状、検査、治療について述べよ。**
3. **急性膵炎と慢性膵炎について述べよ。**
4. **急性胆嚢炎の三主徴、超音波画像診断、起炎菌についてそれぞれ説明しなさい。**
5. **胆嚢、膵臓の疾患を１つずつ挙げ、それぞれ説明せよ。**

**（渋谷先生範囲）**

**完全複製問題：08年度→1、07年度→2、06年度→3、04年度→5**

**03年度→6**

**部分複製問題：05年度→4**

1. **以下の文章の（　）に適語を記入しなさい。**

**１）A型肝炎の確定診断には（　　）が有効である。**

**２）原発性胆汁性肝硬変の組織学的特徴は（　　）である。**

**３）薬剤性肝炎の診断で重要なのは（　　）である。**

**４）C型急性肝炎の診断で必要な検査は（　　）である。**

**５）肝細胞の破壊を示す酵素は（　　）で胆管の破壊を示す酵素は**

**（　　）である。**

**６）劇症肝炎で肝のタンパク合成能を示すのは（　　）である。**

**７）慢性C型ウイルス肝炎のIFN療法の副作用は（　　）である。**

**８）慢性ウイルス肝炎の組織学的特徴は（　　）である。**

**解答**

**１）　　　　　　５）**

**２）　　　　　　６）**

**３）　　　　　　７）**

**４）　　　　　　８）**

1. **肝臓機能をあらわす検査項目を３つ挙げ、その臨床的意義について簡潔に説明せよ。**
2. **以下の文章の（　）に適語を記入しなさい。**
3. **アルコール肝障害は（　a　）と（　b　）と（　c　）とアルコール性肝硬変が上げられる。そのうち大量の飲酒で発症するのは（　b　）であり、（　b　）における血液所見は（　d　）である。**
4. **原発性胆汁性肝硬変の特徴的な組織学所見は（　e　）と（　f　）であり、血液所見は（　g　）である。**
5. **薬剤性肝炎は薬物中毒および（　h　）により生じる。代表的な薬物としてハロタンは（　i　）型肝障害であり、治療の基本は（　j　）である。**

**解答**

**a)　　　　　　f)**

**b)　　　　　　g)**

**c)　　　　　　h)**

**d)　　　　　　i)**

**e)　　　　　　j)**

1. **下記の自己免疫性肝炎（AIH）、原発性胆汁性肝硬変（PBC）の比較表を完成せよ。**
* **表の再現なし。**
* **比較項目（性差・好発年齢、症状、病理組織像、検査所見、検出される自己抗体、合併症、予後、治療）**
1. **以下の語句について説明せよ。**
2. **血清GPT（ALT）値**
3. **HBe抗原**
4. **プロトロンビン時間**
5. **慢性非化膿性胆管炎（CNSDC）**
6. **次の（　）の中に適切な文字や数字を記入しなさい。**
7. **肝炎ウイルスのうち、DNAウイルスは（　a　）である。**
8. **A型肝炎の確定診断には（　b　）を検査する。**
9. **B型肝炎ウイルスの血清マーカーのうち、（　c　）陽性はウイルスが野生株であることを示し、（　d　）陽性はpre-coreまたはcore promoter領域の変異株ウイルスであることを示す。B型肝炎ウイルスの血清マーカーのうちウイルスキャリアの診断には（　e　）が有用である。**
10. **血液生化学検査のうち、肝臓の機能を表すものとして（　f　）や（　g　）がある。**
11. **肝硬変になり肝性脳症を呈する場合、血中アミノ酸モル比のうち（　h　）族アミノ酸は低下し、（　i　）族アミノ酸は上昇する。その結果、フィッシャー比は低下する。**
12. **肝細胞癌の原因ウイルスとしては（　j　）が最も多い。**
13. **間接ビリルビンが上昇する体質性黄疸のうち頻度が高いのは（　k　）である。**
14. **アルコール性肝炎の肝生検上の特徴は（　l　）、（　m　）である。**
15. **原発性胆汁性肝硬変の診断に特異的で重要な血液検査は（　⑭　）と（　n　）である。肝生検では（　o　）や（　p　）が特徴である。**

**10）劇症肝炎の原因として頻度が高いものとしては（　q　）や（　r　）**

 **がある。**

 **急性肝炎との鑑別診断に重要な血液検査所見として （　s　）が**

 **ある。**

**解答**

**a)　　　　　 h)　　　　 o)**

**b)　　　　　 i)　　　　　 p)**

**c)　　　　　 j)　　　　　 q)**

**d)　　　　　 k)　　　　 r)**

**e)　　　　　 l)　　　　　 s)**

**f)　　　　　 m)**

**g)　　　　 　n)**

**（井原先生範囲）**

**完全複製問題：08年度→1 , 2、07年度→3、06年度→4**

1. **以下の文章の（　）に適語を記入しなさい。**
2. **腹部大動脈から（　a　）動脈と（　b　）動脈が分岐する。**
3. **（　a　）からは右側に（　c　）動脈、（　d　）動脈、（　e　）動脈が分岐する。**
4. **（　b　）からは左側に（　f　）動脈、（　g　）動脈、（　h　）動脈が分岐する。**
5. **人工肛門を造設するには（　i　）、（　ｊ　）が解剖学的に適している。**

**解答**

**１）a.　　　b.**

**２）c.　　　d.　　　　e.**

**３）f.　　　g.　　　　h.**

**４）i.　　　j.**

1. **吸収不良症候群をひとつ挙げ、説明しなさい。**
2. **以下の文章の（　）に適語を記入しなさい。**

**上腸間膜動脈は（　a　）（　b　）（　c　）を分岐し（　d　）結腸を栄養する。**

**下腸間膜動脈は（　e　）（　f　）（　g　）を分岐し（　h　）結腸を栄養する。**

**解答**

**a)　　　　　　e)**

**b)　　　　　　f)**

**c)　　　　　　g)**

**d)　　　　　　h)**

1. **大腸ポリポーシスについて正しいものはどれか。**
2. **癌化は稀である。**
3. **常染色体劣性遺伝である。**
4. **過誤腫性である。**
5. **有形成ポリープが大半を占める。**
6. **治療は大腸全摘と回腸肛門嚢吻合である。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

**（小泉先生範囲）**

**完全複製問題：07年度→1、06年度→2、04年度,02年度（再）→3**

**03年度→4、02年度→5、02年度（再）→6、01年度→7**

1. **胃癌で内視鏡的粘膜切除術の適応を述べよ。**
2. **胃MALTリンパ腫について書きなさい。**
3. **以下の問に答えなさい。**
4. **早期胃癌の分類を、構造を図示し説明せよ。**
5. **胃癌を組織型（分化型、未分化型）に分類し、それぞれの発達進展様式を述べよ。**
6. **以下の文章で正しいものは○、間違っているものには×を付けよ。**
7. **早期胃癌は粘膜下層までの浸潤するものをいう。**
8. **胃癌の内視鏡的粘膜切除術の適応は2 cm以内の粘膜内に限局する未分化癌である。**
9. **過形成性ポリープは癌化しやすいのでポリペクトミ―をするべきである。**
10. **粘膜下腫瘍の良悪性の鑑別には超音波内視鏡が有用である。**
11. **切除不能な進行胃癌は化学療法により予後を改善することが出来る。**

**解答**

**１）**

**２）**

**３）**

**４）**

**５）**

1. **以下の問に答えよ。**
2. **H.Pyloriの検査法と特徴について述べよ。**
3. **癌の進展様式について説明せよ。**
4. **ヘリコパクター・ピロリ菌と胃疾患の関連について説明しなさい。**
5. **進行胃癌の進展形式について説明しなさい。**

**予想問題１（☆☆☆）**

**内蔵痛性腹痛と体性痛性腹痛を比較し説明しなさい。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 内蔵痛性腹痛 | 体性痛性腹痛 |
| 発痛機序 | 中空臓器（胃、小腸、大腸etc）の痙攣・拡張・進展 | 壁側腹膜、小腸・結腸腸間膜、横隔膜、小網への刺激 |
| 求心線維 | 無髄のC線維 | 有髄のA線維 |
| 求心路 | 交感神経（大腸神経叢を経る）内を上行脳脊髄神経内の上行 | 脳脊髄神経内の上行 |
| 疼痛部位 | 中心線上、対称性、一定部位 | 非対称性、限局性、不定 |
| 痛みの性状 | 刺しこむような鈍い痛み疝痛 | 突き刺すような鋭い痛み |
| 痛む時間 | 周期的（強い発作は各１分） | 持続的に痛む |
| 悪心・嘔吐、顔面蒼白、発汗 | しばしば伴う | 普通伴わない |
| 歩行、体動の影響 | 痛みが軽快することが多い | 増悪することが多い |
| 有効な薬剤 | 鎮痙剤（抗コリン剤ex.ブスコパン） | 鎮痛剤 |
| 手術適応 | 手術は禁忌のことが多い | 緊急手術適応のことが多い |

**予想問題２（☆☆☆）**

**腹痛の部位を挙げ、予想される疾患を挙げなさい。**

|  |  |
| --- | --- |
| 部位 | 疾患 |
| 腹部全般 | 急性汎発性腹膜炎（虫垂炎、穿孔性、胆汁性、膵液性、肺炎菌性、淋菌性）結核性腹膜炎、イレウス（腸閉塞） |
| 心窩部 | 急性胃炎、慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃癌、急性胃拡張神経性胃炎症、虫垂炎腹部大動脈瘤、狭心症、心筋梗塞、心筋炎、心嚢炎バセドウ病発症、糖尿病、アジソン病胃発症 |
| 右季肋部 | 胆石症、急性胆嚢炎、肝破裂、肝膿瘍、肝臓癌、急性肝炎、肝萎縮、肝硬変 |
| 左季肋部 | 脾破裂、脾腫、慢性膵炎、ガスペイン |
| 右下腹部 | 急性虫垂炎、急性腸間膜リンパ腺炎、回盲部腸重積症子宮付属器炎、卵管妊娠中絶、卵巣出血 |
| 左下腹部 | 痙攣性大腸、graser憩室炎、Crohn病、潰瘍性大腸炎 |
| 下腹中央部（恥骨部） | 膀胱石、膀胱炎、膀胱結石、膀胱腫瘍、骨盤腫瘍、子宮内膜炎、子宮実質炎 |
| 側腹部 | 腎破裂、腎石、遊走腎、腎盂炎、腎腫瘍、腎周囲炎 |

* 腎尿路の痛みは片側性である。

**予想問題３（☆）**

**痛みの出現の仕方から腹痛を鑑別し、それぞれの出現から予想される疾患をそれぞれ５つ挙げなさい。**

突然現れるもの（瞬間的）：

胃・十二指腸潰瘍穿孔、膿瘍・血腫の破裂、食道破裂、子宮外妊娠の破裂、自然気胸、動脈瘤の破裂・解離

迅速に現れるもの（数分）：

内臓破裂、内臓の絞扼（絞扼性腸閉塞、捻転）、上部小腸の閉塞、膵炎、急性胆嚢炎（胆道性疝痛）、腎・尿管性疝痛、子宮外妊娠、胃・十二指腸潰瘍、憩室炎

徐々に現れるもの（数時間）：

虫垂炎、絞扼性ヘルニア、膵炎、十二指腸潰瘍、胃炎、Crohn病、Meckel憩室炎、潰瘍性大腸炎、腫瘍の穿孔（結腸・胃の腫瘍）、腹腔内の腫瘍、破裂前の子宮外妊娠、切迫流産、尿管性疝痛、膀胱炎、腎盂炎、前立腺炎、尿閉、小腸の腫瘍・梗塞

**予想問題４（☆☆☆）**

**予想問題５**

**嘔吐のメカニズムについて簡単に説明しなさい。**

末梢での刺激が求心性迷走神経を経て脳の第４脳室最後野にあるCTZ（Chemorecepter triqqer zone；化学受容器引金帯）を介し、或いは末梢から直接迷走神経や交感神経求心路を経て延髄に入り、延髄外側毛様体背側にある嘔吐中枢を刺激する。また、大脳皮質は嘔吐中枢のコントロールに関与しており、心理的要因が嘔吐発症に影響している。

嘔吐中枢へ伝達された刺激は、唾液分泌中枢、血管運動中枢、呼吸中枢、脳神経を刺激し、その刺激は体性及び内臓神経遠心路を経て効果器に達し、唾液分泌の亢進、横隔膜の下降、腹筋の収縮、胃体部平滑筋の収縮、胃幽門の収縮（閉鎖）、胃噴門の弛緩（開口）、食道の逆蠕動を引き起こすことで、嘔吐を生じさせる。

**Point!**

**悪心：吐き気のこと**

**嘔吐：実際に吐くこと**

**医学的には「悪心・嘔吐」と一括りに表記する。**

**予想問題６**

**吐血・下血についてそれぞれ種類を挙げ説明し、代表的疾患を挙げなさい。**

* 吐血（十二指腸又はそれより上部からの出血による）

新鮮血：胃潰瘍、マロリー・ワイス症候群（Mallory-Weiss syndrome）

コーヒー残渣様血：血液が酸によって茶褐色に変色する（出血部位は胃）

* 下血（大部分は上部消化管からの出血による）

新鮮血：小腸・大腸から（特に大腸から）の出血、直腸肛門部の出血（痔）

タール様の粘着性に富む黒色便（異臭有り）：胃及び十二指腸からの出血

粘血便：潰瘍性大腸炎

黒色便（固形）：慢性便秘

**Point!**

マロリー・ワイス症候群（Mallory-Weiss syndrome）:

嘔吐で起こる嘔吐物の移動や胃の収縮による機械的刺激によって噴門部から食道にかけ裂傷が生じること。多量の飲酒が原因になることが多い。

**（古田先生範囲）**

**完全複製問題：07,06年度→1、05年度→2**

1. **膵頭部癌について検査を列挙し、その治療（内科的、外科的）について述べよ。**
2. **胆石について分類し、イラストを用いてそれぞれ説明しなさい。**

**（小林先生範囲）**

**完全複製問題：07年度→1、06年度→2 , 3、05年度→4、04年度→2、**

**03年度→5、02年度（再）→6、01年度→7**

1. **大腸憩室症について知ることを述べよ。**
2. **食道癌の食道外への進展様式について知るところを述べよ。また、直接浸潤する臓器は何処か答えよ。**
3. **大腸ポリープの組織分類を述べよ。**
4. **過敏性腸症候群（IBS）について知るところを述べよ。**
5. **食道癌術後の晩期合併症について知るところを述べよ。**
6. **潰瘍性大腸炎とクローン病の相違について説明せよ。また、両疾患の治療について述べよ。**
7. **吸収不良性症候群を来す疾患を２つ挙げ、それぞれ知るところを述べよ。**

**（日高先生範囲）**

**完全複製問題：06年度（再）→1**

1. **食道胃静脈瘤と弧発性胃静脈瘤の血行路の違いと、治療の相違について知るところを述べなさい。**

**（今泉先生範囲）**

**完全複製問題：06年度（再）→1、02年度（再）→2**

1. **急性膵炎の重症度の判定に有用な血液検査項目を５つ列挙せよ。ただし、厚生労働省の重症度判定基準に定められているものとする。**
2. **内視鏡検査で起こりうる偶発症について説明せよ。**

**（桜本先生範囲）**

**完全複製問題：06年度→1**

1. **急性虫垂炎の手術適応を書きなさい。**

**（五十嵐先生範囲）**

**完全複製問題：03年度→1、02,01年度→2**

1. **次の（　）に最も適当な言葉を入れなさい。**
2. **大腸のポリープの組織型は（　1　）、過誤腫、炎症性、過形成性ポリープに分類される。**
3. **家族性大腸腺腫症には遺伝性があり、その形式は（　2　）である。また、胃底腺領域には（　3　）、幽門腺領域や十二指腸では（　4　）が合併しやすい。**
4. **口唇や頬の粘膜に色素沈着がみられ、消化管にポリポーシスを伴う疾患は（　5　）症候群が疑われる。**
5. **大腸早期癌の内視鏡治療の適応は（　6　）癌、sm１癌である。**
6. **過敏性腸症候群の病態には（　7　）が大きな要素を占める。**
7. **セリアックスプルーの治療には（　8　）食が重要である。**
8. **潰瘍性大腸炎の組織所見では（　9　）が検出されることが多い。**
9. **クローン病の組織診断には（　10　）の証明が重要である。**

**解答**

**１）　　　　　　６）**

**２）　　　　　　７）**

**３）　　　　　　８）**

**４）　　　　　　９）**

**５）　　　　　　10）**

1. **以下の問題の中から２つ選び、説明せよ。**
2. **潰瘍性大腸炎・腸結核・クローン病の鑑別**
3. **大腸ポリープの組織分類**
4. **FAP・P－J症候群**
5. **過敏性腸症候群**
6. **イレウス**
7. **大腸ポリポーシスを来す疾患を１つ**

**（國分先生範囲）**

**完全複製問題：03年度→1**

1. **以下の文章の（　）に適語を記入しなさい。**

**肝疾患にみられる徴候で急性・慢性を問わず病勢あるいは予後を的確にあらわすのは、眼球結膜の（　1　）である。また上半身（特に前胸部）の皮膚に中心から放射状に見られる（　2　）は、肝硬変症の特徴的な所見である。**

**何らかの原因により門脈圧の上昇を来たした状態が門脈圧亢進症であり、臨床的に最も危険な状態に成り得るのは（　3　）の破裂である。その治療法として緊急時、待機・予防的いずれにも有用なのは主たる供給路である（　4　）静脈を硬化・塞栓せしめる（　5　）である。緊急時には静脈瘤結紮術（EVL）も有効である。**

**B型・C型などの慢性肝炎～肝硬変への移行期に外来経過観察にも最も良い指標と成るのは出血傾向の目安ともなる（　6　）数の低下であり、また凝固能を示すプロトロンビン時間（PT）の延長も徐々にあらわれてくる。**

**肝硬変症への移行後、その重症度分類として重要なChild-Pugh分類はその合計点数によりGradeA、B、Cに表現されるが、その５項目には前述の①、PT、腹水に加え、蛋白合成能を現す（　7　）の低下や高NH3血症を伴う（　8　）の存在及び既往が含まれる。**

**肝硬変の経過観察中に画像診断として最も侵襲が低く、簡便な（　9　）（検査名）で肝細胞癌の存在が疑われた場合、引き続き造影CTで精査を行い、治療法を選択する。肝予備能低下例（切除不能例）や治療後の異所再発が必至（C型肝炎の持続感染による）である場合には、腫瘍径（３cm前後）とその存在部位により、近年は経皮的穿刺による局所療法、特に従来のエタノール局注（PEIT）の安全性とマイクロウェーブ（PMCT）の確実性を兼ね備えた新たな（　10　）が選択されることが多くなりつつある。**

**解答**

**１）　　　　　　　６）**

**２）　　　　　　　７）**

**３）　　　　　　　８）**

**４）　　　　　　　９）**

**５）　　　　　　　10）**